



文化博物館だより 第278号

2009年6月27日

みなさん、こんにちは。郷土作家シリーズが終了し、館内は静かですが、7月1日から『小さな展覧会』明石元輝人シリーズの第1弾が始まるので、その準備が進められています。

● 正井展、閉幕

郷土作家シリーズ『正井和行展』が閉幕。開幕の日にインフルエンザが神戸で確認され、ギャラリートークが1度中止、最終日はあいにくの梅雨空、といったご来館いただくにはあまり良くない状況の中、のべ2,785人の方にお越しいただきました。ありがとうございました。なお、大分県立芸術会館で正井作品の展示が秋に行われます。機会がありましたら、立ち寄ってみて下さいね。



《流燈》 正井和行 (大分県立芸術会館)

● 特別企画展の前売り券が 販売されます！

この夏、『大坂夏の陣と明石藩成立』、特別企画展『いつか見た蒼い空 須飼秀和展』という二つの特別企画展と『小さな展覧会』第2弾が、7月25日(土)から8月23日(日)までの会期で開催されます。

このたびの展覧会では、開催に先立ち、前売り券の販売を行います。ちょっとお得なチケットを購入して、皆さんでご来場下さいね。

前売り券 料金 2割お得です!!
大人 400円 大・高生 240円 中・小生 160円

販売場所/販売期間
当館受付 7月4日～24日(20日除く月曜日休館)
神戸電鉄の駅 7月25日～8月23日
明石観光案内所/山陽電車の駅
7月4日～8月23日

※販売する駅など、詳しくは各機関にお問合せ下さい。



《香り漂う醤油蔵》 須飼秀和

次の展覧会の開催までは、2階ギャラリーを貸出して、市民の方々にご利用いただいています。現在、当館の展示は、常設展示と体験学習室の写真パネル展示「大正時代の明石」が開催中。朝夕の涼しい時間帯に明石公園を散歩がてら、どうぞお立ち寄り下さいね。